

新元号確定時における「公金振込システム」のオペレーション

「公金振込システム」において、日付の入力または画面/帳票のどちらかが表示が和暦である場合、下記のオペレーションを行って下さい。

I. <元号マスタ登録>

和暦を使用する場合に元号マスタ登録が必要です。
メインメニューから6. システム管理>7. 元号マスタの画面へ遷移します。

- (1) 「登録（I）」ボタンを押下してください。（登録状態となり元号マスタ登録が可能です。）

- (2) 元号、略号、開始年月日を入力して、「実行」ボタンを押下します。
確認画面で「はい」ボタンを押下します。

(3) 「公金振込」で新元号が使用可能になります。

公金振込システム

ヘルプ(H)

公金振込システム

☆☆ 元 号 マ ス タ 管 理 ☆☆

※ 印は必須入力項目です。

処理種別を選択してください

登 録 (I) 複 写 (O) 修 正 (U) 削 除 (D)

元号	略号	開始年月日	終了年月日
平成	H	1989/01/06	2019/04/30
新暦	N	2019/05/01	9999/12/31

元 号 ※

略 号 ※

開始年月日 ※

実 行 (E) キャンセル(C) 戻 る (R)

F1:実行 F2:戻る F3:キャンセル F4: F5: F6: F7: F8: F9: F10:メニュー

Ⅱ. <元号規定値変更>

元号規定値とは、元号略号の画面初期表示を規定した値です。

メインメニューから 6. システム管理> 8. システム設定の画面へ遷移します。

- (1) 元号規定値を、新元号の略号を選択して、「実行」ボタンを押下します。
確認画面で「はい」ボタンを押下します。

公金振込システム

ヘルプ(H)

☆☆ システム設定 ☆☆

※のある項目は必須入力項目です。

入力に使用する暦 ☒ 和暦 ☐ 西暦

元号規定値 ※ 新暦

印刷に使用する暦 ☒ 和暦 ☐ 西暦

処理年度 2019

処理月度 3

前回振込日 2020/06/03

前回バックアップフォルダ

E B 連携対象パス

土日入力 ☐ 可 ☒ 不可

実行(E) 戻る(R)

F1:実行 F2:戻る F3: F4: F5: F6: F7: F8: F9: F10:メインメニュー

- (2) 各画面の初期表示が新元号略号になります。

公金振込システム

ヘルプ(H)

☆☆ システム設定 ☆☆

※のある項目は必須入力項目です。

入力に使用する暦 ☒ 和暦 ☐ 西暦

元号規定値 ※ 新暦

印刷に使用する暦 ☒ 和暦 ☐ 西暦

処理年度 2019

処理月度 3

前回振込日 2020/06/03

前回バックアップフォルダ

E B 連携対象パス

土日入力 ☐ 可 ☒ 不可

実行(E) 戻る(R)

F1:実行 F2:戻る F3: F4: F5: F6: F7: F8: F9: F10:メインメニュー